

市議会だより

第37号

平成25年(2013)5月15日発行

発行・飯山市議会

編集：市議会だより
編集委員会

〒389-2292
長野県飯山市大字飯山1110-1
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-0005

インターネットホームページアドレス
<http://www.city.iijama.nagano.jp/gikai/>
E-mail:gikai@city.iijama.nagano.jp

3月定例会概要

平成25年3月定例会は、2月26日から3月18日までの21日間の会期で行われました。

今定例会では、平成25年度一般会計予算(総額161億4000万円)、特別会計・事業会計予算(総額85億7960万3000円)、平成24年度一般会計補正予算(総額3億4042万1000円)の増額、特別会計・事業会計補正予算(3120万8000円の減額)の各予算案25件、条例改正案など20件、事件案8件、固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求める人事案1件、合計54議案が市長から提出されました。

3月5日から7日にかけては一

般質問に14名の議員が登壇し、8日、11日、12日には予算決算常任委員会、13日には総務文教・産業民生常任委員会、それぞれ付託された議案について審査しました。

最終日18日には、固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて同意議決し、その他提出された議案についても、すべて原案のとおり可決されました。

請願2件については賛成少数で不採択とし、議員提案の意見書1件については、全員一致で可決しました。また、「2020年オリンピック・パラリンピック競技大会東京招致に関する決議」が賛成多数で原案可決となりました。(意見書および決議文は50〜51ページに掲載してあります。)

山市学校設置条例の一部を改正する条例、「一般職の職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例」の条例案7件、「基本構想について」、「過疎地域自立促進計画の変更について」の事件案2件の計9議案でした。

審査結果は、「飯山市税条例の一部を改正する条例」および「一般職の職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例」については賛成多数で、その他の議案については、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

請願第1号「国民健康保険増徴反対に関する請願」については、賛成という意見もありましたが、国民健康保険制度を維持していくためにも、国民健康保険税の増徴はやむを得ないなどの意見があり、賛成少数で不採択と決しました。

産業民生常任委員会

一般質問

3月5日、6日、7日には、14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。

※以下、内容は要約して掲載させていただきます。

産業民生常任委員会に付託された議案は、「地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について」をはじめとする条例案13件、「指定管理者の指定について」をはじめとする事件案5件の計18議案でした。

審査結果は、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

請願第2号「生活保護基準の見直しに関する請願」については、国においてこれからより就労支援に力を入れていくため、その経過を注視していくべきとの意見があり、賛成少数で不採択と決しました。

委員会審査

3月8日、11日、12日、13日には、各常任委員会において審査が行われました。

予算決算常任委員会

予算決算常任委員会に付託された議案は、「平成25年度飯山市一般会計予算」1件、特別会計予算10件、水道事業会計予算1件、「平成24年度飯山市一般会計補正予算」1件、特別会計補正予算9件、水道事業会計補正予算1件、追加で提案された「平成24年度飯山市一般会計補正予算」1件、「平成24年度飯山市農業集落排水事業特別

総務文教常任委員会

会計補正予算」1件の計25議案でした。

総務文教常任委員会に付託された議案は、「職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例」、「議会及び選挙管理委員会等の要求により出頭した関係人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例」、「一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」、「飯山市債権管理条例の一部を改正する条例」、「飯山市税条例の一部を改正する条例」、「飯

「まなびの施設」の充実で 更なる飯山の魅力発信を



高山恒夫議員

【質問】新幹線開業やまちづくり事業に「まなびの拠点施設」をどう活用するか。

【答弁】図書館は飯山の自然・歴史・文化の特徴ある地域資料の収集を進めている。ふるさと館では市外の学校から年間1000人を超える体験学習を受け入れている。優れた自然や伝統文化が地域の魅力である。これからの新幹線開通後の事業展開には様々なテーマソリューションを構築していく必要がある。「知の拠点施設」としての役割に期待している。

◆新幹線への集中投資と市民サービスに影響は

【質問】新年度予算は土木費が対前年度72.7%の伸びに対し、民生・農林・教育費は7.8%、2.3%減額になる。数字からでは市民に不安を与え、丁寧な説明が求められるが。

【答弁】民生費の減額は児童手当・生活保護費等実績からの推計で、農林費は農業集落排水事業への繰出金、教育費は文化施設整備基金積立金の減額である。市民生活に直結するサービスを削減した結果ではないが、財政状況も含め今まで以上に分かりやすく説明していきたい。

◆新幹線開業後の目玉事業に

【質問】小菅地域文化的景観保全計画策定事業の国採択へ向けての進捗状況は。

【答弁】地元協力の中心で来年度国への申請に向け作業を進めている。小菅地域の文化的景観の価値は文化庁も十分認知している。選定後は新幹線開業後の飯山駅下車促進にとっても大きな目玉事業の一つとなる。地元や関係機関と連携した取り組みを検討していきたい。



ふるさとを知り、ふるさに愛着を

飯山市第5次総合計画 基本計画について



渋川芳三議員

【質問】基本構想にかける思いは。
【答弁】飯山市は大きく変わる。自然の豊かさ等はしっかり守り、一方でサービスのレベルを高める。
【質問】将来の人口についての考え方に、基本構想内で不整合があるのではないか。
【答弁】人口が一方的に減ることを容認するのではなく、交流人口の増加を図りながら、定住人口の増加に向けた施策を行う。
【質問】策定過程の情報公開、パブリックコメントの時期等が不満足。今後は審議時間を十分に取



飯山市基本構想審議会（小林仁会長）から足立市長に飯山市第5次総合計画 基本構想の答申

情報公開し、丁寧に進めてほしい。
【答弁】今回は時間的な制約がありこのような結果となった。今後の審議会では、丁寧に進める。
◇飯山市国民健康保険税の見直しについて
【質問】国民健康保険の在り方についてどのように考えているか。
【答弁】国保を市町村で運営している状況ではなく、県レベルの広域的な運営が望ましい。
【質問】今回税額の改定で、今後何年間程度、国保会計が赤字とならずに運営できると考えているのか。
【答弁】今後の状況にもよるが、概ね3年から5年程度維持できる。
◇北信地域定住自立圏共生ビジョンについて
【質問】今回策定された共生ビジョンの評価はどうか。
【答弁】このような共生ビジョンができたことは望ましい。
【質問】市のホームページからの検索が容易にできるようにすべき。
【答弁】探しやすいようにするための方法を二層研究していく。

【答弁】今後の状況にもよるが、概ね3年から5年程度維持できる。
◇北信地域定住自立圏共生ビジョンについて
【質問】今回策定された共生ビジョンの評価はどうか。
【答弁】このような共生ビジョンができたことは望ましい。
【質問】市のホームページからの検索が容易にできるようにすべき。
【答弁】探しやすいようにするための方法を二層研究していく。

人権学習について



石田克男議員

【質問】最近マスコミでは、いじめ、暴力など人権に関わる記事が毎日のように載っている。飯山市において人権学習会を本年度どのくらいの地区で開催したか。
【答弁】平成24年度では、5地区で6回、集落では14集落で、14回開催された。もう少し多くの集落で開催されるようお願いしていく。
◇飯山駅舎の保存について
【質問】今の飯山駅舎は寺町飯山の玄関口にふさわしいので残してほしい。



飯山駅舎

【答弁】建物の撤去はJRで行なうが、玄関等駅舎素材の一部の有効活用であればJRとの協議の余地はある。
◇寄付建物の使用状況と今後の管理について
【質問】飯山市で寄付を受けた建物は何軒で、使用状況はどうか。
【答弁】平成15年度から10年間で2軒寄付を受けた。他に千葉県松戸市に1軒ある。市が譲り受けた斑尾の別荘については、今年度2組3名で134日使用した。他2軒は使用なし。
◇「飯山市自立のための計画書の検証」について
【質問】計画書に「正規職員を人口100人あたり職員1人に削減し平成27年までに人件費9億2000万円削減」と目標が掲げられているが成果は。
【答弁】平成23年度では、人口100人あたり1.06人、人件費2億4000万円の削減。新幹線開業までは大型事業が多いので現状を維持し、開業後人口の状況を見ながら対応していく。

【答弁】建物の撤去はJRで行なうが、玄関等駅舎素材の一部の有効活用であればJRとの協議の余地はある。
◇寄付建物の使用状況と今後の管理について
【質問】飯山市で寄付を受けた建物は何軒で、使用状況はどうか。
【答弁】平成15年度から10年間で2軒寄付を受けた。他に千葉県松戸市に1軒ある。市が譲り受けた斑尾の別荘については、今年度2組3名で134日使用した。他2軒は使用なし。
◇「飯山市自立のための計画書の検証」について
【質問】計画書に「正規職員を人口100人あたり職員1人に削減し平成27年までに人件費9億2000万円削減」と目標が掲げられているが成果は。
【答弁】平成23年度では、人口100人あたり1.06人、人件費2億4000万円の削減。新幹線開業までは大型事業が多いので現状を維持し、開業後人口の状況を見ながら対応していく。

新幹線について



望月弘幸議員

◇駅前整備について
【質問】市有地3000㎡の活用のみならず、民間の所有地も含めて考えていくことが現実味を帯びていると思うが、今後の方向性についてお聞きしたい。
【答弁】25年度予算は大型の予算になっていない。民有地の活用動向も注視しながら、駅前の活用について検討していきたい。
◇回遊性のあるまちづくりについて
【質問】(仮称)飯山ぶらざについて「にぎわいとコミュニティ」を生み出す提案がされているが、隈研吾先生のデザイン設計の提案を生かすためにも、新幹線飯山駅から(仮称)飯山ぶらざを通り、ふるさと館、人形館、町屋へと通じる出発点として、(仮称)飯山ぶらざの真ん中を通るナカミチという空間の位置づけが大事だと思うがいかがか。
【答弁】ナカミチは公民館などの文教エリア、そして寺町通り、人形館へと通じる重要な通りであり、こういったところを結び新しいまち

【質問】(仮称)飯山ぶらざについて「にぎわいとコミュニティ」を生み出す提案がされているが、隈研吾先生のデザイン設計の提案を生かすためにも、新幹線飯山駅から(仮称)飯山ぶらざを通り、ふるさと館、人形館、町屋へと通じる出発点として、(仮称)飯山ぶらざの真ん中を通るナカミチという空間の位置づけが大事だと思うがいかがか。
【答弁】ナカミチは公民館などの文教エリア、そして寺町通り、人形館へと通じる重要な通りであり、こういったところを結び新しいまち



千曲川のカワウ対策に理解を!!

の活動の中継地点となることを目指して、歴史、文化を取り入れながら設計していく。
◇カワウ対策について
【質問】高水漁業組合、猟友会が中心となり「対策チーム」を組織して、被害対策に取り組んでいる。全面的に協力をしたらと思うが。
【答弁】連携を取りながら進めていく。県の方とも連絡を取りながら対策をしていく。よく認識している。

安心・安全のまちづくり 大震災の教訓をどう活かすか



山崎一郎議員

【質問】大震災から2年。1日も早い本格的な復興を願う者であるが、地域にとつて重要なことは、震災の教訓を地域の安心・安全にどう活かすかである。重点施策である防災・減災の具体策は何か。
【答弁】災害対応にとつて重要なことは、自助・共助・公助の機能的なつながりであるが、大きな災害になれば先ずは自分の身は自分で守る自助が大切になる。地域や近隣の皆さんは協力して防災に取り組む共助の役割を担う。行政は自主防災組織の運営・活動がより活発になるよう支援をしたい。
【質問】災害発生時の一時避難所は、各区で決めた場所になっているが、市ではその場所の把握と耐震診断できているのか。
【答弁】場所は確認しているが、耐震かどうかは確認できていないので各区・組織でお願いしたい。
【質問】大切な一時避難場所の耐震化は各区でやってくださいでは市として無責任ではないか。それを支援するのが公助ではないか。
【答弁】自主防災組織への支援策

【質問】大震災から2年。1日も早い本格的な復興を願う者であるが、地域にとつて重要なことは、震災の教訓を地域の安心・安全にどう活かすかである。重点施策である防災・減災の具体策は何か。
【答弁】災害対応にとつて重要なことは、自助・共助・公助の機能的なつながりであるが、大きな災害になれば先ずは自分の身は自分で守る自助が大切になる。地域や近隣の皆さんは協力して防災に取り組む共助の役割を担う。行政は自主防災組織の運営・活動がより活発になるよう支援をしたい。
【質問】災害発生時の一時避難所は、各区で決めた場所になっているが、市ではその場所の把握と耐震診断できているのか。
【答弁】場所は確認しているが、耐震かどうかは確認できていないので各区・組織でお願いしたい。
【質問】大切な一時避難場所の耐震化は各区でやってくださいでは市として無責任ではないか。それを支援するのが公助ではないか。
【答弁】自主防災組織への支援策



長野県北部地震
栄村青倉地区の公民館の現実

でどこまでできるか検討したい。
【質問】飯山では市民意識が薄く耐震診断が進んでいないと聞く。現状とその要因は何か。
【答弁】平成18年から今年度まで119件実施し、その8割が改修の必要な状況だが、改修したのは8件であった。費用が改修の進まない要因となっている。
【質問】消火栓は2基以上同時使用すると水圧が下がって消火に影響があると聞くが事実か。
【答弁】消火栓は初期消火が目的なので、防火水槽や自然水利も重要。

平成25年度予算について

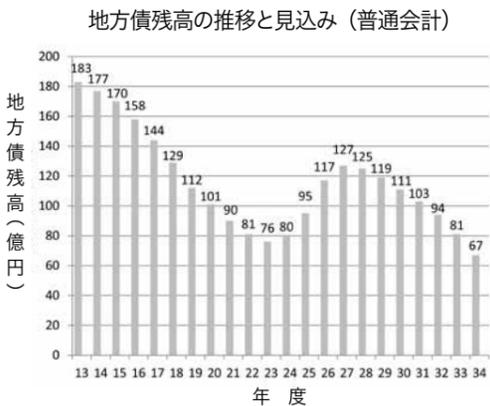


水野晴光議員

◇市債および基金残高について

【質問】新幹線開業に向けての取り組みや、(仮称)飯山ふらぎ等の建設で多額な予算となつているが、市債残高と基金残高の推移は。

【答弁】市債残高の最高は平成13年インフラ整備で183億円となり、その後減少した。本年後からの市債残高はピークが平成27年度127億円で前回の最高時の70%の予定。返済計画は平成25年度12・6億円。最大は平成31年度15・7億円、平成38年度以降10億円を切る予定で今までの返済額を超えない。基金



残高は平成24年度末47億、25年度33億、26年度17億円、以降災害や緊急時を考慮し同額を確保する。

◇固定資産税の軽減について

【質問】スキー人口の減少と高齢化で民宿を中止したり、キノコも価格低迷と高齢化で栽培を中止する方が増加している。未利用建築物の税額軽減を考えてほしいという声が多いが考えは。

【答弁】固定資産を所有しているということだけで課税されている。活用状況で課税されている訳ではないので減免はできない。また解体費の助成も今の所考えていない。

◇農業後継者対策について

【質問】平成25年度から市独自の新規就農者支援を予算化している。若者が親と同種の農業を行った場合の就農給付金はどうか。

【答弁】親の跡継ぎでも対象にする。

【質問】農地取得下限面積は雲南市1ヶ、近江市・西宮市5ヶと少ないが当市の下限面積軽減の考えは。

【答弁】農業の採算を考えて下限決定してある。地域の調和を考えたい。

地域振興と

飯山100%教育について



水野英夫議員

【質問】新幹線開業を控え、広域9市町村による広域観光の拠点として飯山市が中心になろうとしているが、一般市民からすると駅前整備とそこから周辺を飛び越えて周辺市町村に力を入れていくように見えるが。市内各所にもすばらしい原風景があるが周辺地域の取り組みはどうか。

【答弁】飯山市の残っている自然は絶対的価値として残すべきである。観光局を中心として各観光協会の意見を聞きながら取り組んでいきたい。

【質問】インバウンドの取り組みは根本的なことから組み立ててはどうか。

【答弁】受け入れ側の姿勢を確認しながら、飯山らしい商品、受け入れ体勢を明確にし、先進的な観光地との差別化を図っていききたい。

【質問】小学校の児童数の状況は。

【答弁】学校間の傾向は異なるが、向こう10年間くらいは各学年150人前後と見込まれる。



菜の花公園と千曲川

【答弁】社会人として通用する力をつけること。学校の力、家庭の力、地域の力が大事だが、今は家庭の教育が落ちているのでは。また、人的な環境を整えることも大事。飯山で育つことが不利にならないようにしたい。

【質問】飯山らしい教育の中でスキーは外せないが、どのように考えるか。

【答弁】スキーは大事。大きくなつた時にスキー、そして飯山を自慢できるようにしたい。先生にも飯山にいて間にスキーを覚えてもらいたい。

防災・減災のまちづくりは

男女共同参画の視点を生かして



小林初子議員

【質問】地域防災計画の見直し点は。

所運営ゲーム(HUG)などを使った避難所運営等の研修も必要では。

【答弁】原子力災害対策、観光地での災害対策、飼養動物の保護対策が新たに盛り込まれる。

【答弁】避難所運営等、実践的訓練も大事である。職員も市民も検討しながら実践していきたい。

【質問】避難所運営等の見直しは。

【質問】女性の地域防災活動への参加支援の取り組みを。

【答弁】女性専用の物干し場、更衣室、授乳室の設置等女性や子育て家庭のニーズに配慮した運営に努めるといふ部分盛り込まれる。

【答弁】男女コミュニケーション会議、共同参画の組織や職員においても女性防災リーダーの育成、研修会等について図っていきたい。

【質問】新年度防災事業として自主防災組織へ資材や備蓄品の支援が計画されている。それも大事だが、市民の防災意識の向上や職員のスキルアップにつながる避難

【質問】認知症になつても住み慣れた地域で暮らし続けられるかどうかの鍵は早期対応である。それを担う専門の訪問支援員の設置を。

【答弁】コスト面等検討が必要。当面は現状維持でいきたい。

【質問】投票の際、必要な宣誓書を市のホームページからダウンロードできるサービスや入場整理券の裏面に宣誓書を印刷するサービスを導入している所もあるが導入の考えは。



【答弁】ダウンロードはできるが本人確認の面で問題があり検討課題。裏面印刷は経費を要し難しい。

平成25年度予算案について



竹井政志議員

【質問】新幹線開業まで2年となり市民の期待と不安の声も出てくる。過去最大の161億円の新年度予算といわれている。暮らしと福祉を最優先に住民の苦難解決を第一にという立場から新年度予算の特徴は何か。

【答弁】新幹線関係に重点的配分、産業振興では広域観光連携、農業振興では新規農業就業者への市単独支援、経済対策では大規模事業だけでなく小規模な住宅リフォーム事業の継続などにも配慮した。

◇教育行政について

【質問】スポーツ界でも「いじめ・体罰・自殺」が社会問題化している。体罰では子どもの能力を伸ばすことができない。飯山市での体罰の実態は、また「体罰」根絶に向けてどのような対応・対策を検討しているのか。

【答弁】教育現場、スポーツにおける体罰の実態は中学校で1校あった。すべての児童・生徒・教職員・保護者に向けたアンケートを実施している。体罰に関する研修会を通して、誤った考え方などに対し



体罰の根絶を

て指導の必要がある。

◇基本構想と基本計画について

【質問】平成24年度を目標として50年、100年も輝きつづける都市を目指して協働するまちづくりをすすめてきました」とのべている。「輝きつづける都市」という実感が無いという市民の方もいる。この10年間をどのように総括し第5次総合計画を組み立てたのか。

25年度予算案について



渡辺美智子議員

【質問】今年度は民生費が前年度より減額されている。子ども、高齢者にしわ寄せが来ないか。

【答弁】市民の安全、安心、福祉が大型予算によって減ることなく予算をあてている。女性特有のガン検診の無料化の拡大を予定している。

【質問】国保税20%もの増税は受け入れ難い。検討をすべきでは。

【答弁】増税しないよう頑張り、19市の中では最低の保険税だった。今回やむを得ず上げるが県内では真ん中くらい。理解をしてほしい。

【質問】所得に対し国保税の割合は18%以上で、県下で高い方になるが。

【答弁】飯山市は国保加入者平均所得46万2千円。長野県の52万9千円に対して低い状況。それも一つの見方。

【質問】今回の答申で200万円の所得で4人家族の場合、国保税の年額が37万6700円でもとて大変。これは2カ月分の所得以上になる。この状況をどう見るか。

【答弁】国の制度で軽減措置がある。

【質問】この場合軽減制度は使えないのではないか。

【答弁】細かい条件設定ができないので答えにくい。

【質問】他市においては法定外線人等をして増税額を抑えている。飯山市は一切行わないで20%もの増税。市民の生活どう考えるか。

【答弁】今後の課題としてそういう選択肢も考えられるかもしれないが、現況では今の考えで実施したい。

◇湯滝温泉の駐車場の整備を

【質問】斜面の土地で降雪設備もなく、冬は特に困っている。対策を。

【答弁】周辺での駐車場の確保および消費方法について検討する。



雪で利用しにくい湯滝温泉駐車場

安心・安全な地域づくりを!!



渡辺吉晴議員

【質問】飯山市は刈羽原子力発電所から50キロ圏内にある中で、市議会全員で2月13日に視察し、詳細にわたり説明を聞き、これなら安心と思う一人であるが、万が一の事故の対応はどう考えているか。

【答弁】30キロ、50キロ圏内となっている中で、県内でも話し合いをもっているが、避難については県内のあまり遠くない所をと考えている。

【質問】安心安全なまちづくりで自主防災に力を入れるとのことだが、各地区における訓練はどう考えているか。また、自主防災組織のできない集落はどう考えるのか。

【答弁】防災訓練は少なくとも2年に1回はやるようにし、自主防災組織のできない集落については、消防署員および消防団と話し合っ

て進めたい。

【質問】安心安全な生活の中で、消防団はなくてはならない存在であり、出動手当のアップを考えると、市の財政状況では無理と思うが、消防団のシンボルである団旗が古く惨めなため、新しい団旗を購入すべきと思うが。

【質問】北信3市の首長による座談会をもった中での内容を聞かせてほしい。

【答弁】ケーブルテレビおよび広域観光の中で、それぞれの地域の良い物を生かし、広域観光振興で連携をもっていくことを確認しあった。



斑尾高原ホテルにある布袋尊

新規農業就農者に対する市独自の支援策を評価する



佐藤正夫議員

【質問】新規就農事業について国の施策の弱点補完の意味で、飯山市が独自に財政的支援する方向を打ち出したのは大いに評価できる。

【答弁】個人農家への新規就農に対し施設や機械整備に、また、法人の新規雇用には賃金相当額の支援をする。いずれも年齢・支援額等条件もあり、国の制度の補完的な面もあるが、利用しやすい制度をと考えて立案した。

【質問】農業マスタープランの作成に向けた取り組みは地域ごとの差が出ているようだ。市の職員の努力だけでは進まない。JAや地域住民をいかに取り込むかが大事だ。

【答弁】各地域で差はあるが進んできている。農業委員を主体に取り組み体制ができてきた。どうやって地域の担い手と目される農家がワーキンググループへ参加できるか知恵を絞る必要がある。

【質問】過疎債の適用最終年の27年までには、防災無線のデジタル化に合わせ外部拡声器取り付け対応を進めるとのことだったが、過疎債の適用期限が5年間延長された。

【答弁】過疎債は32年まで延長されたが、防災無線のデジタル化はそんなに延ばすつもりはない。27年限度が多少余裕ができたと考えている。

【質問】少子化が進み児童減少に伴い、さまざまな意見が出ている。小規模校が不利にならないような取り組みをしっかりと取ってほしい。

【答弁】岡山小は国の基準では複式学級であるが、飯山市独自で教員を加配し、複式学級を解消している。市内どこに住んでいても同じ教育環境を保証していく方針だ。



少人数でなんでもがんばる岡山小学校の児童たち

道路行政と治水について



西條豊致議員

【質問】国道403号の早期改良を。

除雪の障害にならないようにする。

【答弁】木島地区内の403号は重要路線である。25年度は県と協議し街路決定をし、都市計画道路とし概略設計準備に入る予定。

【質問】除雪の評価制度の結果は。

【答弁】都市計画区内は協力金なし。

【質問】その都度苦情等は業者につなげ、除雪終了後反省会の時に参考にし、質効率の良い除雪とする。

【質問】都市計画区域外における市道改良の地元負担金と寄付採納は。

【質問】東小沼地籍の雑木の伐採は。

【答弁】都市計画区内は協力金なし。

【質問】飯設道路の整備中。雪で中断しており、雪消を待って実施。

【質問】湯滝橋付近の掘削の進捗状況と樽川の浚渫と千曲川の中州は。

【質問】掘削は残りわずかになっており樽川は河口から全体を見て計画する。中州除去は土質を確認し関係機関と協議を進める。下流の浚渫は市災害対策協議会および他の同盟会を通じ要望していく。

【質問】堆肥センター問題について。

【質問】堆肥センター問題について。

【答弁】公害防止協定の締結を進め市民の健康に努め悪臭防止に万全を期し適正に対応する。

【質問】市内グループホームの防災は。

【答弁】市内4ヶ所ともスプリンクラー設置済みで、避難訓練等もしている。

【質問】自主防災の水防団について。

協定都市とは経済交流も



上松永林議員

【質問】災害時相互応援協定都市の現況と今後の方針は。
 【答弁】締結は県内の全市町村、県外は4都市と。区切りとしたい。
 【質問】大阪市との今後の交流は。
 【答弁】スキーで39年の大阪市とより深い交流を、夏も企画したい。
 【質問】官民協力して経済交流を。
 【答弁】現在もやっているが、更に協調して進めていく。
 ◇インバウンドは戦略が必要
 【質問】昨年の台湾・韓国での誘客宣伝活動の内容は。夏と冬の観光客数、外国人数は。



台湾にて誘客宣伝活動

【答弁】旅行会社、スーパー等でPR。スーパーでの物産展決まる。観光客は年間130万人、そのうち冬は62万人、海外からは年間延べ1200人くらい。
 【質問】誘客のため食堂・宿泊施設等改善の助成制度を考えては。
 【答弁】市の融資制度の利用を。
 【質問】客層のターゲットは。集客目標人数は。
 【答弁】模索中、今は誘客活動を。◇「低炭素まちづくり」でコンパクトシティ推進を
 【質問】回遊性のまちづくりは、国の「低炭素まちづくり」の理念と合致。推進自治体で国の支援を受けては。
 【答弁】趣旨は良いが、規模的に飯山市の状況に合わない。

◇国の新規就農支援事業に積極的な取り組みを
 【質問】24年県内では283人承認された。国は8200件を採択。25年度は倍以上を予定。農業の維持と就農者確保のため緊急かつ重要課題として取り組むべきでは。
 【答弁】市は1組。PRに努め、指導・助言をしていきたい。

人事案

◇議案第54号
 固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて
 飯島 秀夫 氏
 《同意議決》

請願審査

◇請願第1号
 国民健康保険増徴税反対に関する請願
 《不採択》

請願者
 飯山生活と健康を守る会
 市村 孝雄

◇請願第2号
 生活保護基準の見直しに関する請願
 《不採択》

請願者
 飯山生活と健康を守る会
 市村 孝雄

意見書

◇意見書第1号
 TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉参加についての意見書
 《左記のとおり原案可決》

安倍首相は、2月22日に開催された日米首脳会談後に発表された共同声明で、わが国がTPP交渉に参加する場合には、すべての物品が交渉の対象とされること及び包括的で高い水準の協定を達成すること、さらに両国間にセンシティブな物品が存在することを確認しつつも、最終的には交渉の結果であつて、一方的にすべての関税撤廃をあらかじめ約束する前提でないことを確認したとし、その後の記者会見で、「この結果を、自民・公明両党に報告し、TPP交渉参加の是非について政府の専権事項として一任を得て、出来るだけ早い時期に決断したい」と述べた。

また、2月25日には自民党役員会において、「TPP交渉参加するかしないか、また、その判断時期については私に任せても

決議

◇決議第1号
 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会東京招致に関する決議
 《左記のとおり原案可決》

オリンピック・パラリンピック競技大会は、世界の人々に、スポーツを通じ感動や希望、勇気を与え、人々の交流を通して世界平和の実現に大きく寄与してきた世界最大のスポーツの祭典です。
 東日本大震災からの復旧、復興に取り組んでいる我が国にとつて、2020年にオリンピック・パラリンピック競技大会を開催することは、国民に夢や希望を与える大きな力になるとともに復興に向け全力で取り組んできた日本の姿を世界に示し、世界中から寄せられた支援に対し感謝の気持ちを表す機会ともなる。

また、昨今、緊迫の度合いを深めている近隣諸国との関係において、スポーツと平和の祭典であるオリンピックが我が国で開催されることはアジアの安

定と平和に望ましいことであります。
 よつて、飯山市議会は、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京での開催を心から希望するとともに、招致活動に賛同し、協力することをここに決議するものである。
 以上、決議する。

視察報告

去る2月13日、全議員参加のもと、東京電力柏崎刈羽原子力発電所の職員より地震対策等の説明を受け、施設内および防潮壁の設置や防潮堤の工事状況等現地視察を行いました。



柏崎刈羽原子力発電所の現地視察

編集後記

議会改革の一環として12月議会から創設された予算決算常任委員会、新年度予算の審査を行いました。従来では各常任委員会による管轄部署のみの審査でしたが、全議員が全ての課を対象とした新年度予算の審査は初めての取り組みとなります。予算決算常任委員会は3日間各課の係長以上職員が出席し、担当する予算および事業内容の説明が行われ、活発な質疑となりました。議会運営委員会での中間総括でも、一定の評価とともに更に議論の深まる運営を目指すことが確認されました。

委員会の情報公開の仕方には様々な議論がありますが、委員会の傍聴もできますので市民の皆さんの積極的な活用もよろしくお祈いします。(高山 恒夫)

議会だより編集委員会

- 委員長 望月 弘幸
- 副委員長 高山 恒夫
- 委員 水野 晴光
- 西條 豊致
- 水野 英夫
- 小林喜美治
- 久保田幸治

※可決となった意見書については、関係機関へ送付しました。

しかしながら、飯山市議会はTPP交渉参加については反対である。
 政府におかれては、TPPに参加した場合の分野別のメリット・デメリットに関する政府統一の試算をしっかりと議論し、国民への十分な情報開示を行なうべきであり、国に対し、国益にそぐわない場合、離脱も視野に入れ、さらに慎重に判断することを求めるものである。
 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。